看護部だより 8月号

～部署紹介～

予防医学センター

～Medical Checkup-Center～

予防医学センターは、人間ドック・各種健康診断の実施を主な業務としており、疾病の早期発見と予防のため、様々な検査の提供や異常発見時の迅速な対応を心掛けています。また、医師や検査技師と連携して、受診後のフォローアップや生活指導の実施をしています。

対象の方は『 患者 』ではなく『 受診者（お客様） 』であり、『 保険診療 』ではなく『 自費診療 』を取り扱っている点が、他部署との大きな違いになります。

皆さんとは職員健診でお会いすることが多いですが、普段の予防医学センターでは、採血や身体計測、問診・聴力・視力検査以外にも様々な業務を行っており、今回はその一部をご紹介します！

【 結果作成 】

受診者の帰宅後、結果を作成します。法律や契約で定められた期間内に、膨大な量をミスが無いよう注意して行います。医師の指示に基づき、受診者の個別性に配慮してコメントを作成しているため、とても大変ですが、腕の見せ所になります！

【問診】

上下部内視鏡検査、バリウム検査、婦人科検査等、各検査において受診者が安全に、納得して受けることができ、疾病の早期発見に繋げるため、検査の案内や説明、丁寧な問診確認を行っています。

【 保健指導 】

写真にあるような様々なツールを用いて、特定保健指導（約 20 件/年）の実施、当日の結果をもとに生活習慣の改善が必要な場合は保健指導（約 1800 件/年）を行っています。

年 1 回の小田原校の学生健診（約 1000 人）と、夏と冬の熱海病院の職員健診(約 1000 件）は予防医学センターを主体に実施しています。短時間で大勢の受診者対応を行う、大仕事です…！

【 多職種連携の場面 】

レントゲン読影担当の奥原先生は、結果に異常があった場合はすぐに報告をくださいます！

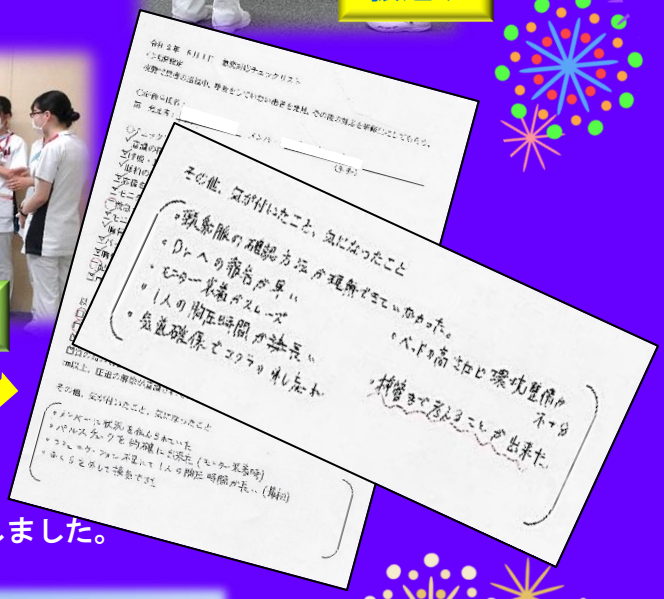
保健師 6 名、看護師 3 名、事務 11 名の
計 20 名が在籍しています！
各検査部門と協力し、少数精鋭のスタッフで
年間**約 5000 名**の健康診断、
約 2500 名の人間ドック
を実施をしています。
（2020 年 8 月末日時点）

2020年8月1日

新人研修

～急変対応～

～入職４か月の振り返り～



このシートの項目を
新人研修担当者がチェックします

～成功体験編～

入職から４か月。
グループワークでお互いの成長を確認しました。

★全然食べない患者さんが食事介助で１０割食べてくれた。
★自立して点滴管理を行えるようになった。
★がん性疼痛を足浴で緩和することができた。
★オペ出しできるようになった。
★20Ｇ針の留置が一発で成功した。
★気管切開で話せない患者さんと意思疎通ができて、ありがとうと文字で感謝された。
★一人で器械出しするオペが増えた。
★救急隊からかかってくるＰＨＳを持てた。

～今後の目標編～

☆もっと患者さんと疾患をつなげられるようにしたい。
☆リーダーへの報告時に何を聞かれてもしっかり答える。
☆薬を覚える。
☆介入を自分で考えたい。
☆心電図を読めるようにしたい。
☆急変対応。
☆嫌なことがあっても、疲れても態度に出さない。
☆電話対応のスキルアップ。

研修担当者より一言

「先輩に言われたから」「やらなきゃいけないから」というのではなく、「患者さんのことを考えたうえで必要と考えるため実施する」という根拠をもとに看護技術の実施や支援ができる場面が増え、成長を感じられました。

国際医療福祉大学　熱海病院